

私の絵画蒐集の道

倉沢 紀武

絵を求め始めたのは平成7、8年頃でした。経営していた会社の事業計画が軌道に乗り始め、少し気持ちに余裕ができてきた頃です。しかし特別な目的意識はまだなく、きれいな日本画や高名な画家の版画などを買い求めていました。そういえば、父親も美術品が好きで時々骨董を手に入れては眺め楽しんでいましたし、亡くなった兄も、絵を見ながら音楽を聴いているのが何より安らぐという人でしたから、私にも少しはそんな下地があったのかなと思います。

そんなごく普通の絵好きであった私の眼を開かせてくれたのは、梅野隆さんの本との出会いでした。忘れもしません、東京の泰明画廊さんが、「これ、おもしろいよ」と紹介してくれたのが梅野さんの著作『美の狩人』と講演録『梅野隆 私の美を語る』の二冊でした。著者の梅野隆という人は知りません。取り上げてある画家も聞いたことのない名前ばかり。ところが一読三嘆、ひそかな私の自負心など吹っ飛んでしまいました。こんな人がいるのか、絵を見るとは、絵を買うとはこういうことか。眼から鱗が剥がれるとはこの時の私のような状態を言うのでしょうか。

その梅野さんのいらっしゃる美術館は私の住む町のすぐそば、「審美の館」は足元にあったのです。すぐさま訪ね、梅野さんに教を乞うたのは言うまでもありません。

梅野さんは私に「目的をもった蒐集」の意義を説いてくれました。テーマを絞りに絞っている私に梅野さんが示唆してくれたのは「郷土」というキーワードでした。以後、絵を手に入れるピッチはあがりました。それまでの蒐品の多くは処分しました。かわりに、新たな蒐品によって私なりの美の世界が徐々に形成されていく、その充実感はそれまで経験のないことでした。

それから十数年、梅野さんという指南役はもうおられません。私も今は独力で審美の道を歩んでいます。自分と同じく、信州の地を郷土とする画家、生地は違ってても信州に大きな足跡を残した画家、そうした郷土にゆかりの画家の作品を集めてきました。それがまとまった数になり小世界が出来てきました。このたび私の蒐品によるコレクション展を、梅野さんの名が刻まれた梅野記念絵画館で開催していただけること。恩返しができるという嬉しい気持ちとともに、門下の末席に居た生徒が、恩師におそろおそろ答案を差し出すような気分でもあります。

個人コレクションには自ずから限界があり、その画家の代表作・大作をみな揃えるような力は残念ながらありません。そういう意味ではささやかな美術空間ですが、私の思いのこもった蒐品群を見ただけで、信州の近代美術史の一側面に触れていただけたらこれにまさる喜びはありません。多くの方々のご高覧を願っております。

■2013年展覧会スケジュール

変更となる場合もございます。

大展示室	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ふれあい館	船山滋生展 4/13~6/9		信州にこだわったらこうなった Kurasawa コレクション展 6/15~8/25		文人画家 冬青 小林勇展 8/31~10/20		早世の画家4 篠原道生展 8/31~10/20		荘司貴和子展 10/26~1/13		第13回 私の愛する一点展 10/26~1/13	梅野コレクション展 2/8~3/30	今西中通展 2/8~3/19

■2013年イベントスケジュール

下記の日程、内容は変更となる場合もございます。

6月15日(土)	14:00	Kurasawa コレクションギャラリートーク
7月27日(土)	13:00	木雨忌
8月24日(土)	9:00	スケッチ大会&アートチャレンジ
9月7日(土)	14:00	冬青 小林勇展ギャラリートーク
10月6日(日)	14:00	小池邦夫ギャラリートーク
10月12日(土)、13日(日)		火のアートフェスティバル(ワークショップ企画中)!

■施設情報、開館案内

とうみし

東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1

TEL0268-61-6161、FAX0268-61-6162、umenokinen@ueda.ne.jp

開館時間 午前9時~午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

入館料 800円(高校生以上) 15名以上団体700円

身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。

休館日 会期中 6月17、24日 7月1、8、16、22、29日 8月5、12、19日

■アクセス

 **お車** 練馬ICから2.5時間



鉄道 東京から最速2時間

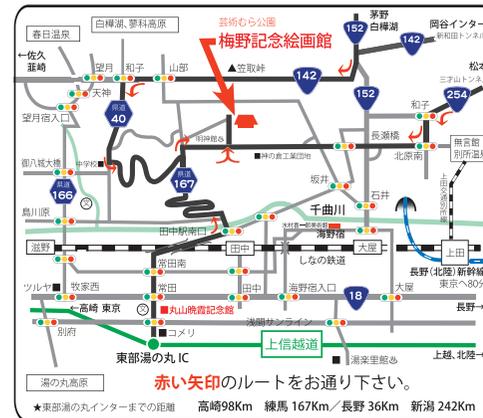
しなの鉄道「滋野」下車、タクシー10分

◆**関東、北陸方面から**
上信越道東部湯の丸インターから15分

◆**関東、北陸方面から**
長野新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、滋野下車。

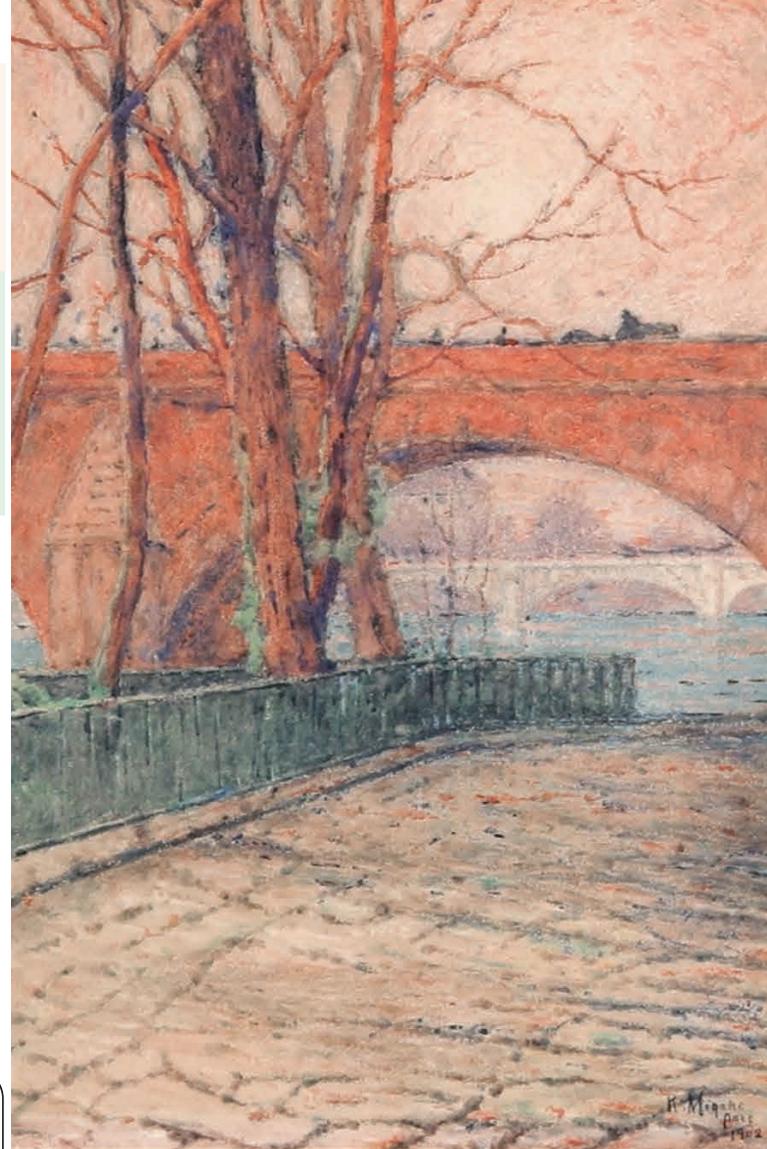
◆**中部、関西方面から**
長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号経由で約1時間

◆**中部、関西方面から**
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、滋野下車



地域の情報をラジオで発信!
エフエムとうみ 78.5MHz

リクエスト、メッセージは
m@fmtomi785.jp



セーヌ河畔/三宅克己

信州にこだわったらこうなった

Kurasawaコレクション展

—故郷への思い、そして恩返しに



2013年
6月15日(土) → 8月25日(日)

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1 TEL 0268-61-6161, FAX 0268-61-6162 午前9時~午後5時 月曜休館

「いつの日か、コレクションが長野県の芸術文化継承の一助になればと考えるようになった。」

—特に東信地方出身、またはゆかりの深い画家たち—山本鼎、丸山晚霞を筆頭に、総勢18名100余点を展示します。

Kurasawa コレクションに感謝

佐藤 修

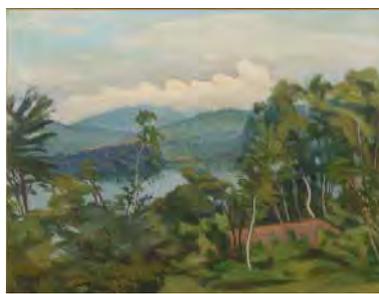
山本鼎とその周辺作家



山本 鼎



倉田白羊



石井柏亭



中村直人

丸山晚霞とその周辺作家



丸山晚霞



三宅克己



神津港人



小山周次



中川紀元



横井弘三



小山敬三



林 俊衛



藤井令太郎



西岡瑞穂



伊川鷹治



小林 丙



北沢良知



佐藤利平

倉沢さんは、ご自身がこよなく愛する郷土・信州にゆかりの画家たちの作品を対象として蒐集をされました。蒐集のテーマをそのように設定されたのには、当館前館長・梅野隆さんの示唆があったと聞きますが、こうして蒐集の成果を拝見する時、ご自身の努力たるやさぞかしであつたらうと敬服します。

山本鼎、倉田白羊、中村直人、林俊衛、小山敬三、丸山晚霞、三宅克己、中川紀元…と連なる作家群は壮観です。出展作品数は百余点。まさに信州にふさわしい悠々と連なる画人の山なみが形成されました。

「倉沢コレクション」は、実は4年前に他の美術館で一度披露されました(約60点)。ですが、「あるコレクターの所蔵作品展」と称し、ご自身の名を明らかにしませんでした。今回も倉沢さんはお名前を冠することに躊躇されておりましたが、これだけの堂々たる誇り高いコレクションであり、是非にと懇願し、晴れてヴェールを解いていただくこととなりました。

百余点が飾られた壁面を見ると、つくづく信州の美術の底力を感じます。多くの画家たちを輩出しただけでなく、いつかの仮住まいのつもりでこの地を訪れた画家が、結局は長い逗留になったのも、信州の気候風土に惹かれたこともあったでしょうが、誠実で努力を惜しまない信州の人たちの気質が、彼らを去りがたくさせたのではないかと思います。

「蒐集は人を語る」。信州の画家に執着されたコレクター自身もまた、誰よりも郷土・信州を愛して止まないのでしょう。

地域にゆかりの作家たちで大きな展覧会ができますことは、公立美術館である当館として、この上なく喜ばしいことです。それを実現させてくださったコレクター・倉沢紀武様に心から感謝を申し上げます。

(東御市梅野記念絵画館 館長)

Kurasawaコレクション展ギャラリートーク
6月15日(土) 14:00 入館料のみ